

「ソーシャルスタートアップ伴走支援プログラム」運営業務委託に係る提案競技への質問と回答

令和8年4月3日

通しNo.	ご質問	回答
1	仕様書全体の中でVCやインパクト投資等、資金調達に関するキーワードが多く出ています。これら資金調達についての活動は今回のスタートアップ伴走支援においてどの程度重視されているでしょうか？	収益化の仕組みづくりを第一の事業目的としますが、伴走支援対象企業の事業課題上の必要性に応じて活動いただきたいです。
2	企画提案書は、類似業務実績や見積書等の添付資料を含めて20枚以内という認識で相違ないでしょうか。	ご認識のとおりです。
3	仕様書5「業務内容」(3)において、総括的専属メンターは会社ごとに配置と記載がございますが、特定のメンターが複数社に重複して配置することは可能でしょうか。	伴走支援対象企業が随時相談可能な体制を構築できるのであれば、重複配置は可能です。
4	仕様書5「業務内容」(4)(エ)に記載の福岡市ソーシャルスタートアップ成長支援事業補助金の認定企業については、令和8年度の認定企業様を対象とする認識でよろしいでしょうか。また、令和7年度以前の認定企業様を対象とする場合、その一覧をご教示いただくことは可能でしょうか。	令和8年度も含めたこれまでの認定企業の中から希望する社を想定しています。 認定企業の情報は福岡市ホームページに掲載しています。 [令和7年度] https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/r-support/business/socialhojyokinn-r7nd.html [令和6年度] https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/r-support/business/socialhojyokinn-bosyu.html
5	「社会課題の解決」と「経済的成長」の両立において、福岡市が想定されている対象企業のスケール(年商等)の目安がございましたらご教示いただけますでしょうか。 (例：3年以内に年商1億円規模を目指しているなど)	スケール(年商等)の目安については、会社ごとに状況が異なるため、特に定めはございません。
6	選定プロセスにおいて、福岡市側で現時点で想定されている条件等がございましたらご教示いただけますでしょうか。 (例：面接時に福岡市ご担当者様が同席されるなど)	面接を実施される場合は、可能な範囲での同席を想定しております。